

2023 年度
埼玉地区主題

主にある交わりを
深めよう

日本基督教団関東教区

埼玉地区通信

2024 年 3 月 3 日

発行人

日本基督教団 関東教区 埼玉地区委員会

委員長 小林 眞

さいたま市岩槻区本町 4-3-15

http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama/

印刷所 (株)シャローム

2024 年地区新年合同礼拝 報告

1 区

日野原記念上尾栄光教会
長橋 和彦



熊江 秀一 牧師

1 区新年合同礼拝は、能登半島地震で被災された北陸、新潟の諸教会

を覚え、癒しとご回復を願う礼拝となりました。礼拝出席教会数は、23 教会（地区外 1 教会含む）、92 名が参加され、合同で礼拝を献げる喜びを共にできました。熊江秀一牧師による説教は、ヨハネ 15 章 1 節から 12 節により、「新年——まことのぶどうの木につながって」でした。主イエスの十字架前夜の「命をかけたメッセージ」を引き出され、主のことばをどう思われますか、又そこから祈りの心はどうでしょうか、と問われるものでした。豊かに実を結ぶために、手入れがなされますが、それは、枝が切り捨てられ、枝が持ち上げられ、新たに神さまの愛につながる献身を求める励ましのお勧めでした。また、子どもたちへの説教は、田中かおる牧師により、ルカ 15 章 1 節から 7 節により、「見失った羊」の題でなされました。先生の子どもの時のご経験から話し始められ、見失った羊が神さ

まのもとへと取り戻される喜び、そして主のご降誕の意味をも教えてくださり、子どもたちにもわかりやすいお勧めでした。

聖餐式は、平澤昇牧師により執行され、5 教会 6 名の配餐の奉仕により、1 教会では味わえない、合同とされている喜び、感謝を分かち合う時となりました。新成人と新受洗者の祝福の祈りは、3 名の新成人の方々が出席されました。武井アイ子牧師による祝福のことばが語られた後に祈りが献げられ、新成人の方々と教会、社会へと送り出す、励ましの場となりました。この度の礼拝では、その準備と当日の受付を 3 教会、献金を 5 教会 6 名、そして子どものためや会場のためには大宮教会の方々がその役割を担ってくださいました。礼拝後は、会場教会の皆様が準備くださったカレーを昼食に頂き、教会間で新年のご挨拶、交流がなされました。

恵みのお交わりの機会をくださったイエス様に感謝、御名を誉め称えます。大宮教会の皆様をはじめ、新年合同礼拝にご協力くださいました諸教会の先生方、兄弟の皆様にお礼を申し上げます。

2 区

東松山教会 崔 長 壽
ちえ じゃん す

2 区の新年合同礼拝は、武蔵豊岡教会を会場に行われました。

久しぶりに対面だけで行われた新年合同礼拝では、この度、ようやく礼拝後にお茶の会を持ち、皆が一緒にカレーを食べながら交わる時を持つことができました。

黒田毅兄（武蔵豊岡教会）の司式と山崎恭子姉（同教会）の奏楽で、礼拝が始まり、子ども礼拝へと続きしました。子ども説教は、木村光寿牧師（飯能教会）がしてくださいました。2 人の子どもの前にして、実物の魚とパンを見せながら、イエス様が 5 千人に食べ物を与えられた話を楽しく語ってくださいました。礼拝の説



にね

去年の夏から、教会員 H さんの紹介でピアノを教

えることになりました。可愛いきょうだい 2 人です。

教室にしていた部屋はすっかり物置状態になっていたため、あまり乗り気ではなかったのですが、保護者の方の熱心な様子に片づけを決心しました。

最初は基礎的なことをしっかりと身に付けてほしいと思いつつ、子どもたちが飽きずに取り組んでいられるか心配になるのが教える側の常です。けれど蓋をあけてみれば子どもたちは、はじめできなかったことを次々にマスターしていきま

す。その吸収する力、成長のスピードに驚かされました。そしてこちらと一緒に楽しみな

ら大いに刺激を受けています。

思えば家族や教会以外で人と会うことがほとんどないにも関わらず、放っておけばずっと一人で引きこもっている自分にとってレッスンを再開するのは、イエス様に促されて沖へ漕ぎ出した漁師のような心境でした。断らなくてよかったとつくづく思います。

神様が H さんを通して沖へ漕ぎ出させてくださったことに感謝いたします。

（吉田みち子）

教は、ルカ15章1節～7節を中心に「一緒に主を喜ぶ」との題で、町田さとみ牧師(初雁教会)がされました。失われた1匹の羊を探して野原を歩きまわり、見つけ出した時、喜びに溢れて帰って来る羊飼いの姿が語られ、1人の人が悔い改めた時の天の喜びが示されました。

聖餐式は、鎌木順子牧師(朝霞教会)の司式と渡邊典子牧師(三芳教会)の補助で行われました。木ノ内一雄牧師(川越教会)による「新成人・新受洗者の祝福の祈り」の後に、2人の受洗者の挨拶がありました。

礼拝の最後に、参加者全員の記念写真を撮りました。今年の参加者は、18教会から86人でした。礼拝後はホールに移動して、武蔵豊岡教会の方々が朝早くから用意してくださった、美味しいカレーライスを食べました。久しぶりにお会いした他教会の方々と、大変楽しい交わりのときでした。この度、コロナ感染症によって2020年以來続いた自粛モードが終わって、久しぶりの愛餐での食事でしたので、皆様にはさらに大きな喜びになったと思います。

会場や礼拝の準備、カレーの準備など、会場教会の栗原清牧

師と武蔵豊岡教会の皆様には、大変お世話になりました。感謝を申し上げます。また、町田さとみ牧師をはじめ、ご奉仕の皆様、キリストの内で1つとされている2区の教会・伝道所、新年合同礼拝にいられた各教会の皆様にご感謝いたします。すべて主に感謝!主に栄光がありますように!

3区

久喜復活伝道所
山野 裕子

能登の被災地は雪の日。埼玉は風が強かったが、晴天。3区の教会が共に礼拝する嬉しい気持ちで、秩父から和戸から。熊谷教会に集った。

礼拝は、松崎守兄(鴻巣)の司式、竹内真理牧師(深谷西島)の奏楽。聖書はイザヤ54:4～10とヨハネ14:25～31が読まれた。子ども説教は、大坪直史牧師(熊谷)。子どもも大人も「辛い」ことが多いが、復活のイエス様が一緒なら「幸い」になると。子どもたちが移動後、長村亮介牧師(鴻巣)の説教。人生は悲哀に満ちている。イザヤは惨状の中「恐れるな」との神の言葉を聴く。主は十字架の死の前「心騒がせるな」と平安を与える。聖霊が共にいる。「ここから出かけよう」と。



力強い賛美と教団信仰告白に続いて、聖餐式が行われた。舟生康雄牧師(加須)が司式、山野裕子牧師(久喜復活)が補助をつとめ、聖餐式の準備は行田教会が担当。配餐と献金は、各教会信徒たちが奉仕した。

礼拝後に、地区委員の正田義也牧師(本庄)が新任の長村牧師と接手を受けられた竹内真理牧師を紹介された。予定の時間が迫り、教会ごとの紹介や挨拶は簡略となったが、集合しての記念撮影は久しぶりであった。茶菓をお土産にして、解散した。熊谷教会には、会場準備

や受付などで奉仕をいただき、感謝。

参加者は、12教会、45(内子ども4)名。新成人と受洗者の出席はなかったが、私は元旦礼拝で、7年前と11年前の3区新年合同礼拝で着物姿で祝福された者達に出会えた。個教会がそれぞれの奉仕で精一杯であるが、主に在る地区の交わりが、今後も喜んでなされるように祈るものです。

第28回アーモンドの会

「障がいを負う人々と共に生きる教会を目指す懇談会」報告

久喜復活伝道所
山野裕子、杉山和美

9月23日(土・祝) 10時～13時、埼玉和光教会を会場に、「教会生活を共にする障がい当事者の思い」様々な障がいを負う方からの発題を通して」との主題で、対面での懇談会が開催されました。

礼拝の始めに、山野裕子牧師が「障がい者が精一杯奉仕する礼拝です」と挨拶。その後、マタイ8:28～34から「いやしの代価を惜しまない愛」との題で、説教をしました。

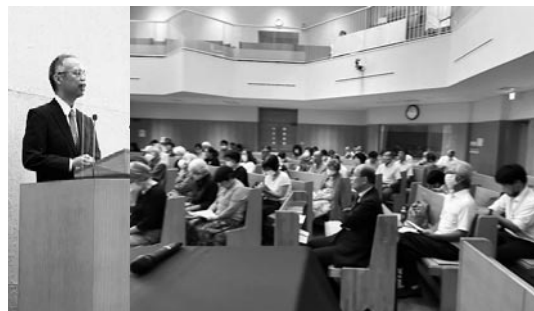
続いて関根康彦委員(小川教会)が進行をつとめ、お2人が発題しました。

Mさん(久喜復活伝道所)は、生い立ちから統合失調症発症までを率直に話され、7040問題の不安から、ネットでプロテスタント教会が良いと知り、ホームページから牧師に電話して、伝道所を訪れます。礼拝は居心地が良く、再入院もありましたが、昨年イースターに受洗。自分のできる奉仕をし、生活も支えられています。妄想などの症状や、家族の対応の体験などは、貴重でした。

Kさん(七里教会)は在監中改めて聖書に出会い、出所後教会の支援を受け、奉仕や聖書の教えに生きがいを見出します。女の子になりたい願い、中学の時のいじめ、長兄の死、戸籍変更の赤裸々な告白は、彼女の成長と七里教会の受容の結果であると感じました。

お2人への質問は活発でした。その後、4グループでの懇談に入り、最後に全体で報告しました。初めての参加者や久しぶりの方も、それぞれの抱えている問題を話し合うことができました。参加者は、13教会・伝道所、41名でした。

第45回 埼玉地区教会全体修養会報告



開催日時

9月18日
10時～15時

会場

大宮教会

主題『信仰によって生きる』

聖書 詩編46編11節

講師 小泉 健 先生

(東京神学大学教授 実践神学)

参加者 70人(地区30教会)

小林地区委員長が開会礼拝で信仰の熱心さは、私たちの理解に止まらないはず、信仰によって生きるとは、神との交わりによって生きるということだと語られました。

小泉先生の講演は、「神との深い交わりなしには本当には生きられない」との問いかけから始まりました。地上の想いに振り回されてみ声を聞くこと

ができなくなり、惨めに破れている私たちを、その故に見捨てて愛してくださり、再び、御前に召し出して、主イエスの故に、新しい命の恵みの中に、置いてくださいます。このことを感謝して応答するために、神の子としての相応しさを御霊によって私たちの中に形作ってくださいますように祈り願って礼拝をささげ生きることを次の4つの歩みによって総括しました。

第1は、静まるということ。世の想いに囚われているので、自力で静かになることは無理で、主イエスに黙れ、静まれと言っていたくしかない現実を大切なこととして覚える。

第2は、静かになり、み声を聞き取ること。あなたの心が全部欲しいと激烈な燃え上がる愛の言葉を神から掛けられていることと、神は今この私にために必要なことばをお語りになることを受け入れる。

第3は、聞いたから祈ることができること。祈りの貧しさは、聞くことの貧しさに原因がある。聞いて、それにお応えする祈りの在り方が、礼拝に繋がり、神の語りかけと私たちの応答を繰り返されることで、招いて

くださる神を褒め称えて賛美となる。このことは、個人の祈りと教会の祈りが結びついていくかを問われてもいる。この結びつきによって、祈りも礼拝も、もつと真実なものになる。

第4は、変えられるということ。自力で改心・悔い改めは、出来ない。故にみ声を聞いて、主イエスの方へ真すぐに向く、つまり立ち返ることを、神が求めている。ですから、聞かせて頂きたい、祈らせて頂きたい。

総括は、私たちは聖別されているということ。私たちは、聖書に於いて聖なるものと言われ、既に神によって選り分けられ、神の宝とされている。御言葉を聞いて、そこで主イエスを見つめることを通して、御子が始めることを通して、御子がますますはつきりと私たちの内に宿り、私たち自身が御子のようになり変えられて行きます。このためにも聞いて、それに応答して祈ることを大事にしていきたいと、総括されました。

分団では、懇親の輪が広がり、あつという間に予定の時刻が過ぎて、全体会となりました。栗原地区副委員長が司会をつとめ、主との交わりに生き、神の選びに應えて、仕えて生きる、その使命を再確認させていただきました。

新任教師ご紹介

越谷教会 須賀 工

2023年度
より、越谷教会
の牧師として就
任しました須賀工です。今後と
もどうぞ、よろしくお願い申し
上げます。越谷教会は、私の母教会で
す。ただ、教会員として教会に
関わったのは、実質約5年ほど
でありますから、「慣れ」のよ
うなものではなく、むしろ、日々、
新しい気持ちで、主の尊いお働
きに参与させていただいてい
る、という思いを強くしていま
す。

最近、私は、毎朝晩に40分ほど、散歩をしています。健康のために始めたのでありますが、心を整えるために聖書朗読アプリを聴きながら歩いていきます。御言葉に聴き、近所を歩きながら、この街にも、まだ、主を知らぬ民がいるのだと感じ、心が燃やされています。

微力な者ではありますが、隣れみの主による埼玉伝道の末端に関わらせていただけたことに、深く感謝をしています。皆様の上に、神様の祝福があり

ますように、心よりお祈り申し上げます。

越谷教会 須賀 舞

越谷教会の副
牧師として着任
して、半年が経
ちました。まだ、教区・地区の
皆様全員にはご挨拶しきれて
おりませんが、この場を借りて
「はじめまして!どうぞよろし
くおねがいします!」と申し
上げたいと思います。

私は石川県の出身で、ミッ ションスクールである北陸学院に入学したことをきっかけに、教会に通い始めました。牧師と結婚をし、初めの任地には信徒としていましたが、そこで志を与えられ神学校を経験し、教師検定試験をCコースで6年間かけて受験しました。子育てと共に学びの時を重ね、今、牧師への道を共に歩んできた下の子は5歳、いつも傍らで応援してくれた上の子は8歳になります。

越谷教会に着任と同時に、幼稚園の副園長にもなり、毎日あたたかい日々を過ごしていますが、地区・教区の皆様ともよき交わりを持っていけたらうれしいです。

地区1日教師研修会

三芳教会 渡邊 典子

9月25日(月) 10時半～15時半
ホテルヘリティジ熊谷研修



センター。27教会・伝道所30名と講師陣3名。

開会礼拝(渡邊典子委員長)の後、日本聖書協会の飯島克彦氏による講演がなされました。テーマは、「聖書 聖書協会共同訳」について―事業の概要と翻訳の特徴―でした。

約30年ぶりに行われた翻訳方針は、「礼拝で朗読されるにふさわしく、会衆の耳に心地よい、格調高い日本語訳を目指す」というものでした。翻訳の理由がとても心に残りました。それは、「翻訳されたテキストは、耕して整った土地のようなもので、人はそこを歩くようになる。いつの間にかそこは道になり、表面の土が固まる。多くの人が何度も1つの聖書翻訳を読んでいると、表面が何度も踏まれ、滑るほど固くなる。読み慣れて、さっと読めてしまう。翻訳テキストという地面の下が実は大事なのに、別のところへ行く通り道になってしまう。新しく翻訳するということは、固くなってしまった地面を耕すこと。みんなが歩いて固く通り道のようにになってしまった畑を、改めて耕し、土をほぐし、柔らかくする。それが新しく聖書を翻訳するということ」というものでした。

分団での意見として、新しい翻訳聖書を採用したいが、ようやく今の聖書に慣れてきた…。経済的に難しい。教区が教団の補助があれば検討したい。まずは祈禱会や小集会で用いてみたい。などの意見が出されました。教会の基本である聖書翻訳について、豊かな学びと交わりの時を共有できました。主に感謝です。

伝道協議会報告

新しいことを始める用意はあるか?

町田さとみ

毎年恒例の「埼玉地区伝道協議会」を、去る11月19日(日)午後3時から5時まで、初雁教会を会場にして開催しました。

今回はオンラインでの参加を希望する方があり、ZOOMでのオンラインと対面との両方で協議会を持ちました。対面での出席が9名、オンライン出席が4名、合計13名(教職9名、信徒4名)の中、司会は栗原清先生(武蔵豊岡教会)、開会礼拝の説教は澁谷弘祐先生(毛呂教会)が担当され、熱い伝道の説教を伺いました。

二人の発題のあと、それぞれに質疑応答や意見交換をしました。始めに、私、町田が恒例の地区・教区・教団の互助の説明をしました。

もうお一人の発題者、山岡創先生(坂戸いずみ教会)は、「今後の新しい伝道委員会の取り組み」について話されました。「これまでは、伝道部委員会が地区内の教会・伝道所の伝道集会の支援や手伝いをしてきた。コロナ禍等を経験し、今後の伝道委員会の地区の関わり方は変わる時が来たと思う。伝道委員会が1年間に各最寄り区の教会・伝道所を1か所ずつ(全3箇所)を問安する。現状等を伺い、伝道委員会が協力できることを共に考え、必要ならば幾らかの経済的支援をし、共に祈る活動を始めていく」と発題されました。

小林眞地区委員長から「伝道委員会の新しい取り組みが、地区の伝道の働きの契機となつて、埼玉地区の伝道がいよいよ活発になされることを期待する」との総括と祈りによって閉会しました。埼玉地区の新しい動きが、既に始まっていることを覚え、共に歩みたいと願います。

(地区書記)

教会音楽講習会

埼玉新生教会 吉田みち子

2023年度、教会音楽委員会は「どうする奏楽?!」と題した講習会を1月20日(土)に大宮教会で開催しました。各教会・伝道所の奏楽者が抱えている課題を、当事者同士の交流によって解決への手助けとなる場を設けることをおもな目的とした会です。

あいにくの天候にも関わらず16教会36人の参加者が与えられました。澁谷実季牧師(毛呂教会)による開会礼拝に続き、音大で声楽も学ばれてきた講師の平澤巧牧師(春日部教会)から交わりを前にした講話をいただきました。

まず、会衆が賛美に参加できるようになった宗教改革期の礼拝音楽を通して讃美歌と奏楽の関係を考えます。当時は聖歌隊や先唱者が会衆の賛美を導いていましたが、今日の私たちの礼拝ではその役割を奏楽者が担っており、奏楽者は伝道の最前線にいる、と教えていただきました。

続いて参加者が6つの分団に分かれ話し合いの時を持ちました。日頃交流する機会が少

ない奏楽者同士が、お互いの教会の礼拝賛美や奏楽の様子を知ることができ、良い出会いや新しい発見があったようです。礼拝用の楽器・賛美歌、奏楽曲、奏楽者の数、練習時間、奏楽者の育成など話は尽きないようで、休憩時間も熱心に話し込む分団が見受けられました。

最後に全体会で各分団からの発表と質疑応答があり、平澤牧師に賛美歌の歌い方などの質問に答えていただきました。参加者が喜びをもつてそれぞれの教会へ帰り、奉仕できると期待しています。

地区青年部 1泊お泊まり会

大宮教会 栗原 愛基

9月17日・18日に青年部主催の1泊お泊まり会が武蔵豊岡教会で開催されました。部分参加を含めて、青年14名・教職5名・その他1名の計20名の方と共に楽しいひとときを過ごしました。主題は「主の祈り」でした。コロナ禍を過ごし、久しぶりの泊まりのイベントで、ワクワクの気持ちと不安の気持ちが入り混じった気分が当日を迎えました。

1日目は開会礼拝で町田先生のお話で、主の祈りについて学びました。夕飯はカレーを作り、美味しくいただきました。近隣のスーパー銭湯へ出かけました。そして、教会に戻ってきてそのまま就寝：とはならないのが青年です。語り合った夜通し盛り上がりしました。

2日目は2グループに分かれて「主の祈り」について分かち合いをもち、様々な意見が出ました。閉会礼拝では竹内先生のお話を聞いてお聞きとなりました。

(青年部リーダー補佐)

2023年度の青年会

青年部委員会リーダーズ

コロナ禍で集会所が制限されていたこの2～3年は、集まることに懸念されていたため、青年会のキャンプや年2回の「青年の集い」、年間数回行っていた「ミニ集い」などは、様子を見ながらでした。青年部委員会執行部を「リーダーズ」と名付け、ラインで青年部のことを検討し、意見交換をしながら、活動の流れを途絶えさせないようにしてきました。



餅つきフェスティバル

2023年度は、地区通信52-1号でも載せたように7月に「青年の集い」、9月には今号に載せた「1泊お泊まり会」を行いました。坂戸いずみ教会、大宮教会、武蔵豊岡教会などから青年が参加しました。11月26日(日)大宮教会にて行った「青年ミニ集い」では、大宮教会の

青年会のワークショップに参加させてもらい、20名(青年18名、教師2名)が参加。2月11日(日)には中高生・KKSの「餅つきフェスティバル」に青年部10名が参加し、中高生と一緒に餅をついて食べました。改めて、青年が集って過ごす時間を主を讃美する時は何と幸せだろうと思いました。

3月10日(日)15時、初雁教会を会場に「青年の集い」を行います。皆さんの参加をお待ちしています！

(文責：町田さとみ)

社会委員会の集会報告

所沢みくに教会 加藤 久幸

○平和を求める8・15集会

(会場は大宮教会)

参加者は12教会35名。開会の後に、主題講演を行った。講師は、杉原浩司氏(武器取引反対ネットワーク「NAT」代表)、講演は「武器取引が憲法を壊す戦争ではなく平和の準備を」がテーマで、講演後に質疑応答を行った。講演の内容は、2022年末の安保関連3文書改訂以降2023年夏までに政策化・法制化された軍事大国化へ向かう現状を詳細

に報告し、それに対抗する市民運動の大切さを強調するものだった。質疑応答の中では、ロシアに対抗するウクライナの市民の戦いをどう考えるか、聖書に基づく平和の視点などが出されました。

○環境問題学習会

(10月29日、埼玉和光教会)

参加者は19名(6教会)。主題

は、「教会の社会的責任を果たすために」(参考：埼玉地区規則第6条1項③)。今回、従来開催していた「環境問題学習会」を利用して、今までの社会委員会の活動と課題を振り返ることを意図し、パネルディスカッションを行った。パネリストの、星出卓也氏(日本長老教会西武柳沢キリスト教会牧師)、宮島牧人氏(日本基督教団原町田教会牧師)、稲正樹氏(日本基督教団所沢みくに教会信徒)の3氏に、①各々の活動報告や取り組み、②「教会の社会的責任を果たすために」考えていること、③「主イエスの福音を一言で言えば？」という3点について、発表していただいた。パネルディスカッションや分団の報告の要点は、「埼玉の夜明け」No.163を、参照していただきたい。

(社会委員長)

地区委員会報告

2023年度第4回委員会

日時 9月18日 (火)

会場 大宮教会、出席10人

●主な報告

1. 地区内の教会・教師の報告

①懇談報告…

・埼玉中国語伝道所、桶川伝道所

②就任式執行報告

・鴻巣教会 7月16日 (日)

長村亮介 (正・主)

・春日部教会 7月30日 (日)

平澤巴恵 (補・担)

③互助申請に関する件

・加須教会 伝道資金援助

2万6千円

・ベウラ教会伝道資金援助

5万円

④地区全体1日修養会

・日時9月18日 (月) 10～15時

・会場 大宮教会

参加75名、30教会伝道所

以上、承認した。

●主な協議事項

1. 地区委員会主催集会に関する件

①伝道協力協議会

・日時 10月29日 (日) 15時

・会場 初雁教会

・開会礼拝 澁谷弘祐牧師

・発題 山岡創牧師「伝道委員

会の新しい働き」、町田さと

み牧師「各互助について」。

②新年合同礼拝

・今年度は最寄り区毎での開催。

各区の教師会に検討、実行を

委託する。

・日時2024年1月8日

(月) 10時30分～12時

③地区総合協議会

・日時2024年2月13日

(火) 19時～21時

・会場 大宮教会

・内容 次年度の組織と予定、

会計報告と予算案について。

以上、可決した。

2. 地区総会付託議案に関する

件

①議案第9号…次回地区総会

会場の件

・会場…聖学院大学チャペル

〔聖学院教会〕からの表記変更

以上、可決した。

2023年度第5回委員会

日時 11月7日 (火)

会場 大宮教会、出席8人

●主な報告

1. 地区内の教会・教師の報告

①懇談報告…埼玉中国語伝道

所、桶川伝道所

2. 伝道協力協議会

①開催月日の変更…10月29日

(日) ↓11月19日 (日)

②問安予定

・春日部教会 11月29日 (水)

・秩父教会 12月6日 (水)

・鴻巣教会、越谷教会

12月8日 (金)

3. 互助申請に関する件

①加須教会 特定規模教会負

担金減免申請により、2万9

千円に減免された。

②朝霞教会 同申請により、2

万8千円に減免された。

③越生教会 伝道援助金5万

円。

以上、承認した。

●主な協議事項

1. 地区委員会主催集会に関する

件

①地区総会開催に関する件

・各奉仕者等について、四役会

に付託することとする。

以上、可決した。

2. クリスマスプレゼントに関

する件

②隠退教師17名、8万5千円と

する。

以上、可決した。

2023年度第6回委員会

日時 1月9日 (火)

会場 大宮教会、出席8人

●主な報告

1. 地区内の教会・教師の報告

①懇談報告…埼玉中国語伝道

所、桶川伝道所

②伝道協力協議会

出席9名、オンライン4名。

③新年合同礼拝1月8日 (月)

・1区 会場…大宮教会

説教…熊江秀一牧師

子ども説教…田中かおる牧師

92名出席。

・2区 会場…武蔵豊岡教会

説教…町田さとみ牧師

子ども説教…木村光寿牧師

87名出席。

・3区 会場…熊谷教会

説教…長村亮介牧師

子ども説教…大坪直史牧師

45名出席。

④互助申請に関する件

・教団年金掛金補助

秩父教会・三芳教会

教会分2915円

教師分2970円 (月額)

教会互助

加須教会

7万5千円 (月額)

・地区伝道支援金申請

久喜復活伝道所 7千円

・鳩山伝道所 緊急互助

以上、承認した。

●主な協議事項

1. 地区委員会主催集会等に関

する件

①地区総会について

・総会議案報告書の校正

2月19日 (月) 10時～20時、

初雁教会にて。四役に付託す

る。

以上、可決した。

・総会準備会

・3月13日 (水) 13時～18時、

聖学院教会緑聖ホールにて。

・地区総会当日の各担当者等

については、四役に付託す

る。

以上、可決した。

編集後記

52―2号には、この数年の本誌と比べると、沢山の寄稿によって成り立っていることを思います。新年合同礼拝は制限なく集い、聖餐式を執行できたことは、2020年の合同礼拝以来です。他にも、コロナ禍で行わなかった集会や活動が回復していることを知ることができます。勿論、まだ集えない会があり、コロナウイルスも終息してはいませんが、回復の途上にあることを感謝します。

(町田さとみ)

婦人部だより

No.41

婦人部の活動

委員長 鴻野 清美

主の御名を賛美します。

信仰の浅い私が委員長を2

期、続けることになりました。

総会はコロナ禍を考慮し書

面議決としました。58教会・伝

道所の内、43教会・伝道所が登

録いただきました。昨年は70

9名でしたが、今年度はやや減

少傾向で684名です。

活動報告としては、5月26日

つくば学園教会にて関東教区

教会婦人会連合総会が開催さ

れ埼玉地区婦人部から17名出

席。

6月10日アジア学院学生と

の1日交流会が行われ、新宿都

庁南展望室と浅草散策に引率

として3名参加。身振り手振り

の英語でも何とか通じたよう

で、今回は1泊したいとの希望

がありました。10月14日のアジ

ア学院収穫祭に参加し学生生

活を見学しました。卒業後、自

国での活躍に期待します。

6月17日大宮教会を会場と

して3年ぶりに全体研修会を行
い22教会・伝道所72名の参
加がありました。開会礼拝は埼
大通り教会の稲益久仁子牧師
の力強いメッセージと証。

2部のゴスペルコンサート

(岩淵まこと・由美子夫妻)で

は、歌と証に癒されました。最

後に参加者の皆さんでGod

Bless Youを合唱し、心に残る研

修会となりました。

6月27日に行われた女性教

職と牧師婦人の集いに協力し

ました。

もより婦人研修会は10月

11月にかけて7ブロックすべ

てが対面で開催できました。

久々の開催となった所もあ

り、近隣の教会の方と触れ合う

良い機会となりました。

10月16日・17日に第18回全

国「正典として聖書を共に学ぶ

会」に2名参加しました。28期

主題「キリストにある平和を共

に追い求めようーローマの

信徒への手紙を学びつつー」

に基づき、ローマ書を通読後レ

ポート提出。篠浦千史(さや教

会)先生の「聖書を圧倒される
まで読みなさい」との、メッ
セージがありました。

ACWCJ(アジア教会婦人

会議日本委員会)2023年

度一日研修会は山室軍平記念

ホールでオンラインライブ配

信されました。大宮教会で行わ

れた2ブロックのもより婦人

研修会の後、6名に参加頂きま

した。

クリスマス献金はほぼ例年

通り献げることができ感謝で

した。

2024年「世界祈禱日」に

ついては各区の担当教会に準

備していただきました。

NCCからの依頼でパレス

チナの婦人たちを覚えて武文

に基づいて礼拝と献金を献げ

る形式です。

「主において常に喜びなさ

い。重ねて言います。喜びなさ

い。」ピリピの信徒への手紙4

章4節

最近、この聖句が胸に響いて

きます。

コロナ禍を経て礼拝や祈祷

会をリモートで行い教会に集

うことを疎かにしていないか。

新型コロナウイルスが5類に引

き下げられたとはいえ、インフ

ルエンザも流行しています。

高齢化の波は押し寄せてき

ています。教会へ行きたくても
足がなく行けないという話も
聞きます。教会に集い礼拝に出
席して共に祈りを合わせ、賛美
する。近況を確認し合うのも大
切な時間と思います。

今後共、婦人部の活動に皆様

の御加祈、御協力を宜しくお願

い致します。



2024 年度もより婦人研修会担当教会

ブロック	2023 年度	2024 年度
1	安行教会	川口教会
2	大宮教会	東大宮教会
3	久喜復活伝道所	岩槻教会
4	鴻巣教会	加須教会
5	東松山教会	小川教会
6	初雁教会	所沢武蔵野教会
7	行田教会	未定

◇第1ブロック

安行教会担当

西川 弘子

穏やかな秋晴れの10月21日
(土)安行教会に於て、もより
婦人研修会が27名参加で行わ
れました。清水伝道師による開
会礼拝「神さまの義」と題して
の説教。田中牧師による「キリ
ストによる平和」と題しての
講演をして頂きました。豊かな
学びの時となりました。交わり
の時は各教会の近況報告と自
己紹介があり、全員の顔が見ら
れて分団に別れない方法は、よ
かったと思いました。最高齢は
93才。若い方々が見当たりませ
ん。駐車場完備のある教会に改
めて感謝でした。



もより婦人会研修会

◇第2ブロック

大宮教会担当

川本 範子

11月17日(金) 午前10時半～
午後12時40分礼拝と講演 大宮教会 熊江
秀一牧師

テーマ「キリストの平和」

礼拝後、長崎、沖縄の映像を見ながら講演を頂き、今まさに世界の戦争が止められない中、79年前の日本の凄惨な状況が繰り返される愚かさとしを思いつつ神の平和を考える1日となった。

30分の分団で各テーブル毎に主の平和について分かち合いタイムな時間に恵み豊かな時を頂いた。6教会31名参加。教会各位の御協力感謝。

◇第3ブロック

主に在る交わりを感謝して

久喜復活伝道所担当

渡辺千代子

11月14日(火) 10時～12時、第3ブロックもより婦人研修会が久喜復活伝道所にて開催され、8教会、対面17名、オンライン8名の参加でした。

礼拝は「できれば、せめて：平和に暮らしたい」(ロマ書12章10～19節)と題して山野裕子牧師の説教があり、続いて

当伝道所の4人が証しをしました。その後各教会の報告を受け、予定通り終了。

ミニバザーもありました。

婦人会がない当伝道所にとって初めての経験でしたが、協力しながらできましたことは大きなお恵みでした。この経験をを通して教会員同士、自覚と連帯がさらに強まりました。

◇第4ブロック

鴻巣教会担当

森 真由美

11月11日午後1時～3時

鴻巣教会を会場に4年振りに対面で研修を行うことができました。

開会礼拝は鴻巣教会の長村亮介牧師より「何かがきつと待っている」と題して説教を頂きました。

熊谷教会の大坪園子牧師より「義人はいない、一人もない。救われた者の群れ、それが教会」と題して講演を頂きました。私達ひとりひとはキリストに罪を赦され主の愛に包まれ日々歩む者ということを、御自身の体験談と素晴らしい園子牧師の讃美の歌声を聞かせて頂きながら平和な雰囲気になったされました。

◇第5ブロック

東松山教会担当

細貝 泰子

11月14日(火) 4年振りに対面での集会を開催。4教会で25名の参加がありました。

1部では崔長壽牧師による

『平和の君イエス・キリスト』と題した説教と講演を伺いました。戦争がないことが平和ではない。神が私達に与えようとするまことの平和とは罪からの自由であり、神に召された者は平和を実現する者として働くことが求められている。という力強いメッセージをいただきました。2部は崔牧師と餅允禎姉による交わりのひとときでした。最初から最後まで姉妹達と紡いだ恵みの時を感謝致します。

◇第7ブロック

平和を祈る

行田教会担当

川島 睦子

秋の日差しが穏やかに降り注ぐ中、行田教会新会堂において賛美の歌声が響き渡りました。礼拝は「外なる平和と内なる平和」をテーマにしたもので、その後の講演は、プロジェクトを駆使して「初期キリスト教における女性の重要な役割」についてのお話でした。交わりの後には、ご来会の方々へ行田銘菓をお渡しいたしました。また、西川牧師特製のポストカードもお配りさせていただきました。各教会の事情により婦人会活動の次の開催は未定ですが、近隣教会と交流する中、心からの喜びと勇気が湧き起こる集会でした。

◇第6ブロック

初雁教会担当

宮腰千恵子

10月31日初雁教会を会場として、4年ぶりに対面で開催することが出来ました。

6ブロックの8教会が共に集い、礼拝では「神の愛が示される」と題して町田さとみ牧師より説教を頂きました。

講演で「キリストの平和を追い求めて」日本基督教団信仰

埼玉県地区婦人会計奉仕

草加教会 稲垣 知子

主の御名を賛美いたします。教会の中だけで奉仕してきた私ですが、この度、埼玉県地区婦人会の会計をすることになり、不安の中の始まりと緊張でした。

私は今までアナログの生活をしてきたので、デジタルの世界が理解できないままの始まりでした。

町田牧師と5人の役員がワゴンチームになりました。役員の方々に助けられながら、一つ一つクリアして過ごしております。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」好きな聖句、テサロニケの信徒への手紙15章18節です。

他教会の方々を知ることができて、自分の生活が広がり喜ばしく感じています。

2年間の奉仕を、神様が豊かに導いてください。

